

一腹水がたまり余命宣告され髄膜脳炎と診断されたロングコート477のハチちゃん

腹水がたまって立っているのがやっと、余命1年といわれたハチちゃん。

3歳頃から、散歩で歩くのを嫌がる様子を見せるようになり、歩いている途中で足を踏み外したようになることもあり、獣医からヘルニアとの診断…。

ステロイドの処方で一時的には回復するも同じような症状が続く。

1年程度のステロイドの投薬で、おなかが膨らみ、フケが多くではじめ、眼の輝きもなくなり肝臓の数値も悪くなり、背骨が曲がるなどの症状が続き、MRI検査をおこなったところ髄膜脳炎と診断される。

また元気に歩けるようになってほしいという想いでインターネットでいろいろ調べ、どうぶつ気功院のことを知り通院することになりました。

1度目の気功で、背骨が伸びて歩ける距離も伸びて、フケはありながらもステロイドをやめて月1回の通院を続け、少しずつでも歩けるようになってもう3年間もお世話になっております。

まだ、視力が回復しておらず、走ることも出来ませんが、少しずつですがしっかりと歩けるようになっております。